※令和４年度以降入学生用

学校番号	3032

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	(学)国語演習	単位数	3単位	年次	3年次
使用教科書	なし						
副教材等	「過程の演習 新国語問題集 現代文編・古典編」（啓隆社）など						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・１・2年次の学習を通して身につけた国語の基礎学力を基に、より高度な「読解力」「言語表現力」へと昇華しつつ、他者との対話を意義あるものとして展開できる力を培うことを目標とします。
・教材は、主に国公立大学で近年出題された文章を取り上げます。それらの文章は、現代社会を考える上で、今現在読むに値する文章を各大学が精選して提示したもの（それは現代文だけに限りません。古文・漢文も同じ日本語として読むに値すると評価された作品であることに違いはありません。）であり、それらを通して高校生が何を学び、考えてきたのかを問いかけようとしている文章です。したがって、単にそれらの文章を読んで問題を解くということにとどまらず、それらの文章に対して考察を行い、「書く・話す」という形で表現していきます。
・そのため、授業では、課題に対して、自らが考えるだけではなく、周りの人との対話を通して協働で考える活動も行います。その一方で、自分の学習を振り返り、次の学習につなげる姿勢や、実際に目標を達成できているかを評価して自己の人間としての向上をめざします。

2　学習の到達目標

・多様な、そして、できるだけ多くの文章を読むことで、実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けて、自己の人間としての向上をめざす。
・論理的、批判的に考える力と深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、他教科で学んだ知識などとの連関も大切にして考える力を養う。そうした活動を通して、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付け、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的、批判的に考える力と深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉そして対話を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	・論理的な文章を読み、適切に要約をする。 ・筆者の主張を確認し、その主張の根拠となる点を的確に指摘できるように読み解く。 ・根拠から主張に至る論理展開が説明できる。 ［教材］ 現代文（論理的文章）	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増やすだけでなく、その語について深く考え、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b［読］：主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 c：文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	ﾜｰｸｼｰﾄ 定期考査 小テスト	ﾜｰｸｼｰﾄ 定期考査	振り返りｼｰﾄ
	・適切に場面を把握し、登場人物の心情を理解する。 ・人間関係や対象物などの関連を的確に把握する。 ・全体の流れを他者にわかりやすく説明できる。 ［教材］ 現代文（文学的文章）	a：小説などに多用される語彙や表現を理解し、自分の言葉として説明できる。 b［書］：文全体の構成を見極めて、個々の段落や文の流れを理解し、場面や登場人物の心情を的確に把握し、説明している。 c：主題について積極的に自分の考えを深め、文章内容を参考にしながら、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。	ﾜｰｸｼｰﾄ 定期考査 小テスト	ﾜｰｸｼｰﾄ 定期考査	振り返りｼｰﾄ
	・単語や文法など古文の基礎知識を理解し、そうした力を基に的確な現代語訳をする。 ・文体の特徴を理解して、必要な内容を補いつつ、全体の話を理解する。 ［教材］ 古文（物語・説話）	a：古文理解に必要な知識を身につけ、それらの知識を本文解釈のために適切に応用している。 b［読］：適切な現代語訳を基に、本文を解釈し、それを前提としつつ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c：自らの解釈を他者に示して、読解の適切さを検証しようとする意識があり、他者との対話によって理解を深めようとしている。	ﾜｰｸｼｰﾄ 定期考査	ﾜｰｸｼｰﾄ 定期考査 発表	振り返りｼｰﾄ
	・漢文の基礎知識を適切に応用できる。 ・漢文の知識だけでなく、古文や現代文の力を総合させて適切に解釈することができる。 ・それぞれの思想家の考え方を理解し、適切に解釈にする。 ［教材］ 漢文（思想）	a：漢文の語彙や句法などの基礎知識を大切にしながら、読解を深めている。 b［読］：漢文の知識だけでなく、古文や現代文の力を総合的に応用していく意識があり、それを踏まえて適切な解釈をしている。 c：思想家の考えの理解を深め、他者との話し合いを通じて、そうした理解の妥当性を検証し、それぞれの思想家の考えを体系的に整理する。	ﾜｰｸｼｰﾄ 定期考査	ﾜｰｸｼｰﾄ 定期考査	振り返りｼｰﾄ
二学期	・長めの評論文を読んで本文全体を的確に理解し、論理展開を確認しつつ、筆者の主張を把握する。	a：評論文に多用される抽象的な用語などの理解を深めて、それらを適切に説明できる。	ﾜｰｸｼｰﾄ 定期考査	ﾜｰｸｼｰﾄ 定期考査	振り返りｼｰﾄ

※令和４年度以降入学生用

	・筆者の主張をその根拠とともにわかりやすく要約できる。 ・読み解いた内容をクリティカルな視点から検討する。 ［教材］ 現代文（論理的文章）	b［読］：筆者の文体などにも注意を向けて、その論理展開を正確に把握することができる。その上で、筆者の主張を的確にまとめる。 c ：理解した内容を批判的思考によって再検証し、より適切に理解を深める。			
	・文章中の抽象的な表現なども適切に解釈して、作者が描く作品の世界観を理解する。 ・そうして理解した作品のよさについて、他者と話し合い、共有する。 ［教材］ 現代文（文学的文章）	a ：文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b［読］：文章の構成や比喩などの表現の仕方を理解し、書き手の意図を正確に把握している。 c ：文学的文章に触れて、その論理性とその多様な表現を味わい、他者と共有できる。	ﾜｰｸｼｰﾄ 定期考査 小テスト	ﾜｰｸｼｰﾄ 定期考査	振り返りｼｰﾄ
	・固有の文体を持つ日記や随筆においても、基礎知識を基にして的確に現代語訳をする。 ・和歌は、その独自の技法などにも理解を深めて通釈をする。 ・古典の世界を前提にしつつも現代人と共有できる心情を確認する。 ［教材］ 古文（日記・随筆・和歌）	a ：的確な現代語訳をもとに、より複雑な心情表現を理解することができる。 b［書］：語彙や文法などに違いはあるものの、古文が現代文とつながっているという意識を育みながら読解し、読み手に伝わるように表現している。 c ：読解を通じて古典の世界の人間を身近な存在として認識し、その観点から他者と話し合う。	ﾜｰｸｼｰﾄ 定期考査 小テスト	ﾜｰｸｼｰﾄ 定期考査	振り返りｼｰﾄ
	・明清の時代など比較的新しい時代の作品を通して、より広い漢文の世界を解釈していく。 ・訓点によって、本来中国語である様々な文献を日本語として読むことができることを認識しながら、読解力を高める。 ［教材］ 漢文（随筆）	a ：句法や語法の的確な理解をもとに現代語訳をする。 b［読］：漢文の訓点の優秀さを認識して、漢文を読む意義を再確認し、諸子百家や仏教などの思想が様々な作品の底流になっていることにも気づいていく。 c ：多くの作品を読み、対話を通して漢文の世界の価値観や認識を明らかにしていく。	ﾜｰｸｼｰﾄ 定期考査	ﾜｰｸｼｰﾄ 定期考査	振り返りｼｰﾄ
三学期	・主張と根拠を的確に把握して要約をする。その内容を他者に適切に説明する。 ・これまでに読んだ様々な文章を俯瞰し、批判的思考によって総合的に考え、現代社会における論点とのつながりの中で整理する。 ・読み解いていった現代社会の論点を、対話を通して考える。 ［教材］ 現代文（論理的文章）	a ：主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 b［読］：読み解いた文章を要約して理解した様々な知見を総合して、次はそれを根拠に新たな課題を考えていくことができる。 c ：自らの課題を他者と共有し、そうした課題へのあらたな仮説を見出して考えていくことができる。	ﾜｰｸｼｰﾄ	ﾜｰｸｼｰﾄ	振り返りｼｰﾄ

※令和４年度以降入学生用

三学期	・登場人物の心情を中心に、人間の在り方や生き方を総合的に考えていく。 ・人間を取り巻く社会や自然環境などにも深い認識を持ち、他者とのつながりを大切にしていく。 ［教材］ 現代文（文学的文章）	a：心情などの心理的な要素も環境や他者とつながりあうことで理解できることを認識できる。 b［書］：心情などを理解する時も、前後の文章との論理的な関係によって、読み解いていくという意識をもって読んでいる。 c：人間を理解するためには言葉によって考え、様々な世界とつながることによって、理解を深めることができる。そうした認識は他者との対話を通じて深めることを意識する。	ﾜｰｸｼｰﾄ	ﾜｰｸｼｰﾄ	振り返りｼｰﾄ
	・歌論・連歌論・芸術論や、江戸時代の評論など、多くの考え方に触れて、古典の世界の深みを味わう。 ・和歌・俳諧などの韻文を通して、日本文化の多様性を認識する。 ・古典は現代とのつながりの中で読み解き、再認識することで新たな世界観や価値観が創造されることを理解する。 ［教材］ 古文（評論・韻文）	a：古語も現代語も同じ日本語として存在していることを理解する。 b［書］：古典を読み解き、その世界を味わいながら、そこに生きた同じ人間の存在や考えを深く考えて表現している。 c：古典から学んだことを自身の今後の糧として、どのように深めていくかを他者とともに考える。	ﾜｰｸｼｰﾄ	ﾜｰｸｼｰﾄ	振り返りｼｰﾄ
	・漢詩の世界を味わい、これまで読んできた漢文の世界の人々の心情を理解する。 ・漢詩と、和歌や俳諧とを比較しながら、韻文のもつ力を考える。 ［教材］ 漢文（漢詩）	a：漢詩の基本を確認しつつ、漢文の世界観を味わう。 b［読］：漢詩がどのような影響を与え、人々に読み継がれていったのかを考えて、漢文の世界の理解を深める。 c：漢詩・漢文が日本語に与えた影響を考え、現代にどのように受け継がれているのかを話し合う。	ﾜｰｸｼｰﾄ	ﾜｰｸｼｰﾄ	振り返りｼｰﾄ

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　３０　）時間

・書くこと　…　（　２５　）時間

・読むこと　…　（　５０　）時間